

月刊「技術士」平成18年10月号掲載追悼文

高城重厚氏のご逝去を悼む

カンボジア王国技術協力フォーラム
会長 吉武進也（金属部門）

元理事・元環境部会長の高城重厚氏（化学部門・環境部門）が去る8月24日前立腺癌のためご逝去されました。享年70歳。誠にかげがえのない貴重な人材を失い、茫然自失・痛恨の極みです。

私は、これほど国のため、技術士制度の発展のために貢献された方を知りません。平成12年の技術士法改正の時は、技術士審議会委員として、また、「APECエンジニア」の確立に当たっては豊富な知識と国際感覚、国際的人脈をもとに世界に向けても発信され主導的に貢献されました。一連のご功績に対し平成15年には文部科学大臣表彰を受章されました。この間、本会の多くの委員会委員はもとよりJABEEの設立の段階から幾つもの委員を務められました。また、技術者倫理教育にも熱心に取り組み、病に倒れる直前まで、東大・東工大・九大・新潟大などで非常勤講師として若い学生にその重要性を説かれました。

わがプロジェクトチームが取り組んでい

る、経済復興に立ち遅れているミャンマーやカンボジア王国に対する技術支援研修は、通算して6年に及んでいますが、常に中心メンバーとして、若い技術者の育成に情熱を傾けて指導している姿は、脳裏から消えることはありません。

このようなスケールの大きい高城氏は、晩年の奉仕の場を故郷である鹿児島県大口市に定めていたことを葬儀に参列して知りました。既に「NPO あつたらし会」（勿体無いの意）を立ち上げ、地元の若い方々と地域活性化に歩み出したところでした。ご無念でしょう。

高城氏の人柄に多くの方が惹きつけられ、慕われていることは、皆様ご存知の通りです。あの笑顔とあの声を再び見ることも聞くこともできない寂しさは、筆舌に尽くせません。ひたすらご冥福をお祈りするばかりです。高城さんご苦労様でした。

有難うございました。